

クラスの様子【10月号】

●ひよこ組 今月の目標 過ごしやすい気候の中で、散歩や戸外活動を楽しむ。

暑さも次第にやわらぎ、戸外での活動がしやすくなってきました。みんなで出かける散歩も、にぎやかなセミの声から、秋の虫の声への変化が感じられます。9月には、初めて消防署に行きました。「ピーポーピーポー」「ピーポーブー」と楽しみに出発。消防署では、消防車や救急車を親切に優しく見せて頂き、いい思い出になりました。

9月から5名での生活が始まり、一日一日、子どもたち同士の関わりにも広がりを見せています。10月は秋を感じながら、戸外での活動を楽しみたいと思います。(伊達)



●りす組 今月の目標 戸外でたくさん身体を動かし、自然に触れることを楽しむ。

今月は運動会ごっこ練習でダンスやかかけっこを楽しみました。ダンスはポンポンを持ち、元気いっぱいリズムに合わせて身体を動かしています。かけっこは3つのグループに分かれ、保育士がグループの名前を呼びかけると「はいーい！」とニコニコで走ってきてくれます。たくさんの運動遊びを通して、身体を動かすことでしっかりと歩くことができる子も増えてきました。乳母車を使わず園周辺に散歩に出かけ、少しずつ長い距離を歩けるようになってきています。

散歩の途中でほかのグループの友だちを見つけると「おーい！」と嬉しそうに手を振り近づいていく姿もあり、友だち同士の関係も深まってきています。道を渡るときには保育士と一緒に左右を確認し保育士の真似をして上手に手を挙げて渡ろうとし、車が来た時にはしっかり道の端に寄ることもできているのでこれからも少しずつ散歩の距離を伸ばしていき、交通のルールも丁寧に伝えていきたいと思います。(平塚)



●うさぎ組 今月の目標 散歩に出掛け、身体を動かしたり、秋の自然に触れて楽しむ。

風が一気に涼しくなり、過ごしやすい季節がやってきました。秋晴れが続き、戸外での活動をたくさんすることができ子ども達は大喜びです。お集まりでは、トンボのめがねや虫の声など秋の歌を歌っています。子ども達はすぐに覚え、お散歩でトンボやコオロギを見つけると、歌ったり虫になりきって走ったりと元気いっぱいでした。「トンボ赤色やったな」「コオロギめっちゃとぶなあ」など、実際に捕まえて観察することで色んな発見があり、子ども達は目をキラキラさせながら楽しんでます。

また選択制の活動も一人ひとりが何をしたいか、どこに行きたいか、お友達は誰がいるかなど自分でしっかり考えて決めることができるようになってきました。自分で決めたことだからこそ思いきり楽しみ満足のできる活動ができているのだと思います。子ども達の声に耳を傾けながらこういった活動がいろいろ考え、楽しく過ごしていきたいと思います。(ゆい)



クラスの様子【10月号】

●さくら・くぬぎ・とちのき組 今月の目標 秋の自然に親しみ、季節の移り変わりを感じる。

<室内の様子>

製作コーナーでは、自分の好きなものを積極的に作ってみたり、お友だちが作ったものを見て自分も作ってみたいと感じる子たちが増えてきました。先日、年中児の読み聞かせで、日本という島ができる話をし、その内容からどんな島が作りたいかと質問するといろいろな自分だけの島を発表してくれました。そのイメージした島を絵に描きました。一人ひとりの個性あふれる作品がくぬぎ組にある作品展示コーナーに飾ってあります。それをみた年長児や年少児が、自分だけの島をまた描いてくれて“ながさわじま”となって、今も増え続けています。今回のように子どもたちの発想からどんどん広がっていくような取り組みが増えていき、そして子どもたちの想像力やイメージを大切にしながら、その想いを発表できる環境作りにも力を入れていきたいと思えます。(矢下)



<戸外の様子>

9月は過ごしやすい日が多く、園庭で運動遊びや運動会ごっこに積極的に取り組みました。平均台と鉄棒を組み合わせたアスレチック遊びでは、初めは怖がり保育士の手をギュッと握っていた子ども繰り返し挑戦することで、手をそっと添えるだけでできたり、自分だけでできるようになっていました。怖がりながらも何度も挑戦し、最後までできると嬉しそうにニコニコしてまた列に並び姿を見て、「自分から繰り返し挑戦してえらいな」「こうして子どもたちは自信をつけていくんだな」と思いました。



運動会ごっこでは玉入れやリレー、ボールまわしなど様々な競技を楽しみました。異年齢で取り組むことでどうしても力の差は出てしまいますが、応援したり協力し合い頑張る姿にほっこりした気持ちになりました。今年は残念ながら例年通りの運動会はできませんが、10月に入ってから未満児、幼児それぞれ日を設け運動会ごっこをする予定です。いつもとは違う運動会にはなりますが、みんなで楽しい時間をすごせるといいなと思えます。(黒宮)

●ライオン組 今月の目標 秋の自然に触れながら戸外に出て身体を動かして遊ぶ。

ライオン組にとって、一年の大イベントのお泊り保育が、先日無事に終わりました。コロナウイルスの影響で今年は例年のように青少年センターで泊まる事は出来ませんでしたが、普段子ども達が生活している園でのお泊りは安心感もあり、日中とは又違った楽しみや発見がありました。当日は天気の都合で、予定していたモクモクファームには行けませんでした。夜、ホールに灯すキャンドル作りをしました。グループのみんなで何色のキャンドルにするかを話し合い、「どんなになるかな?」と期待を持ちながら取り組みました。夜ご飯は、みんなが楽しみにしていたバイキング。調理員さんが心を込めて沢山の品数を作って下さり、好きな料理を自分で取る特別なスタイルに、子ども達は夢中になって選んでいました。夜のお散歩では真っ暗の中、懐中電灯を照らして出掛けましたが、みんなが一緒だったので「怖くない!!」と強い気持ちを持つところが出来ました。お散歩から帰ると、ホールにオルゴールのBGMが流れる中、前日に作った行灯の光と日中に作ったキャンドルの火がとてもきれいに灯してあるのを見て、思わず「わあーきれい!!」と感動し、自分達で作ったからこそ感動も大きかったと思えます。パジャマに着替えて寝る時は、少し寂しくなってきた子もいましたが、不安や寂しさを乗り越えながらも全員お泊りが出来た事を嬉しく思います。初めてお家の人と離れて一晩過ごした子も多くいましたが、この経験はきっと子ども達にとって、一つ大きく成長したことだと感じます。これからも園生活で、沢山の思い出をつくって欲しいと思えます。(坂)

